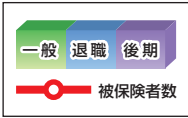
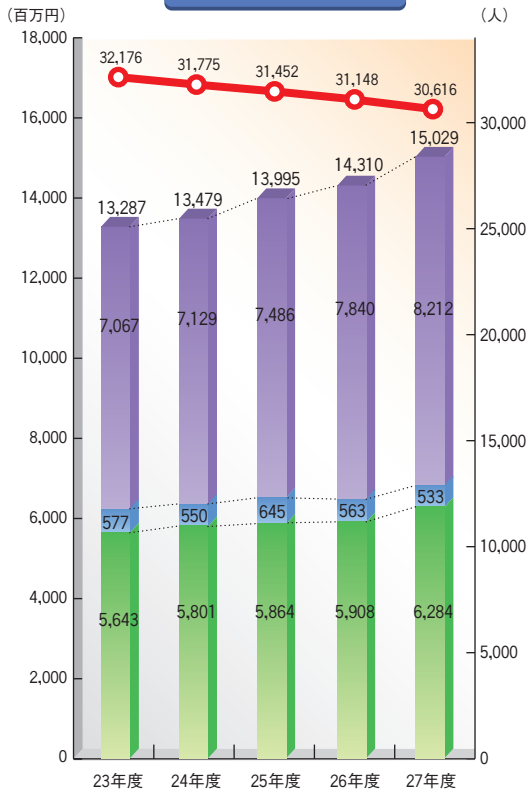


大田原市

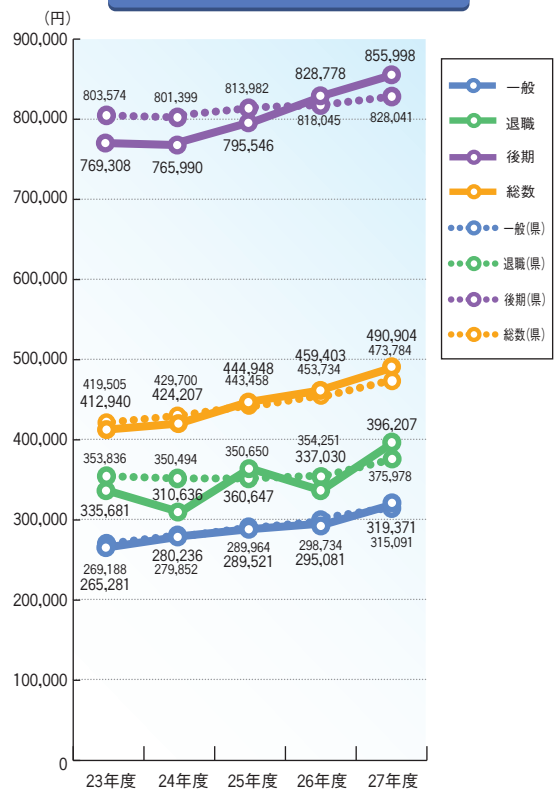
大田原市



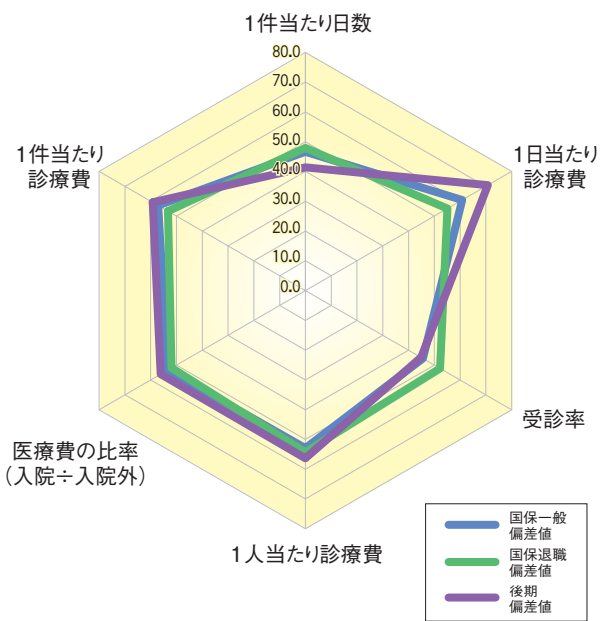
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

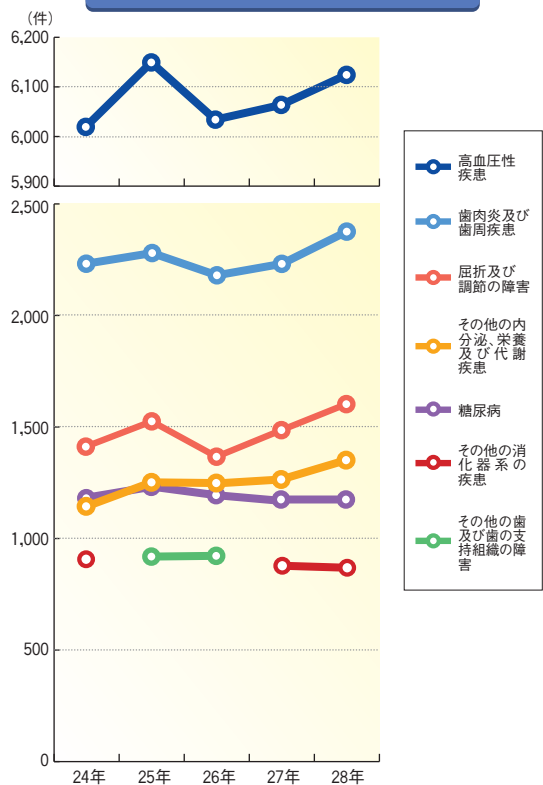


平成27年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

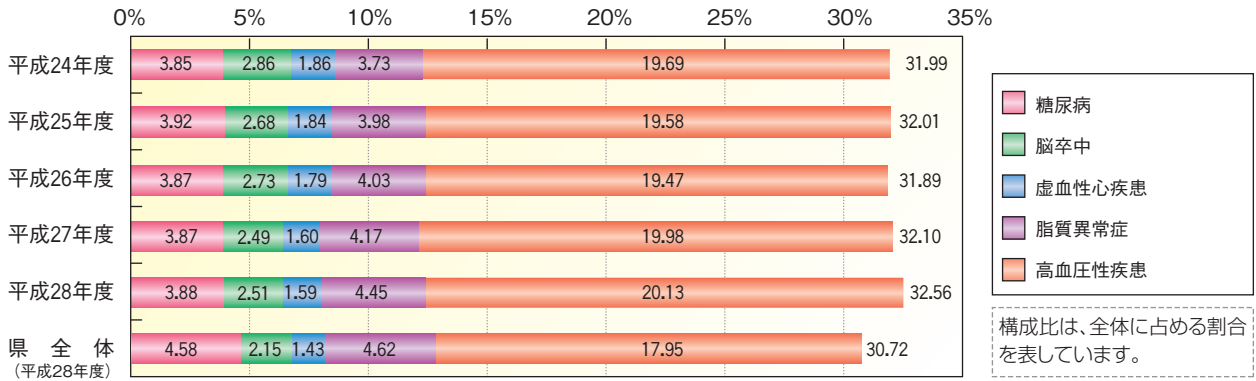


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

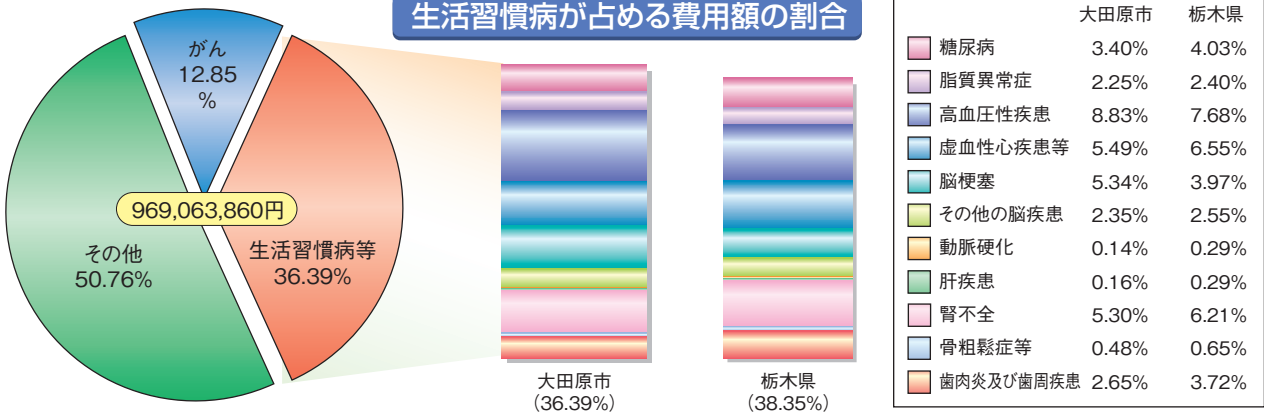
多受診疾病上位6位の推移



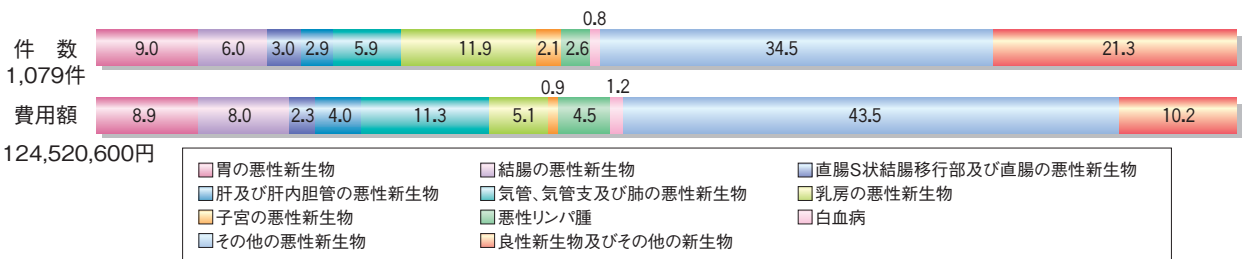
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



大田原市の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成27年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般6,284,269千円(106.4%)、退職532,899千円(94.7%)、後期8,212,229千円(104.8%)で、全体では15,029,397千円(105.0%)と増加している。()は前年度との比較。

平成27年度平均被保険者数は30,616人で、内訳は一般19,677人、退職1,345人、後期9,594人である。前年度と比較すると全体で98.3%と減少している。

また、平成27年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は490,904円(31,501円増)、一般は319,371円(24,290円増)、退職は396,207円(59,177円増)、後期は855,998円(27,220円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療諸費の県平均との比較をみると、全ての法別の1件当たりの日数と国保一般及び後期の受診率以外、いずれの法別も県の値を上回る高い偏差値となっている。

★疾病の状況

平成28年5月診療分で件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位屈折及び調節の障害、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位糖尿病、6位その他の消化器系の疾患で、過去5年上位5疾病に変動はなく、件数及び費用額についても特に大きな変動はない。

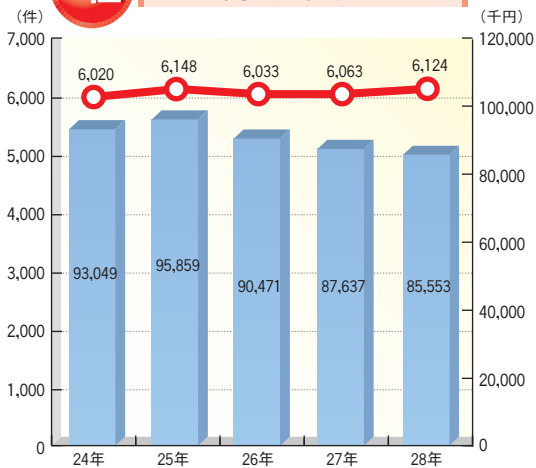
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、高血圧性疾患の構成値は年々増加し大田原市全体の20%を占め、5大生活習慣病全体の構成比も増加した。また、近年脂質異常症が増加傾向にある。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成28年5月診療分の総費用額が969,063,860円で、がんが12.85%、生活習慣病関連が36.39%を占めている(県全体 がん12.31%、生活習慣病関連38.35%)。費用額の占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患8.83%、虚血性心疾患等5.49%、脳梗塞5.34%となっている。

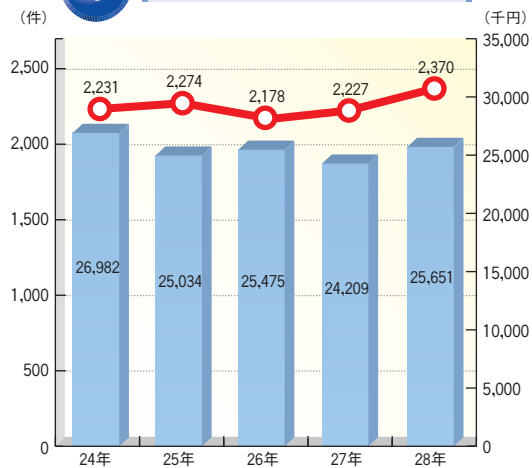
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では、乳房の悪性新生物、費用額では、胃の悪性新生物、結腸の悪性新生物、気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合となっている。

多受診疾病 上位6の年次推移

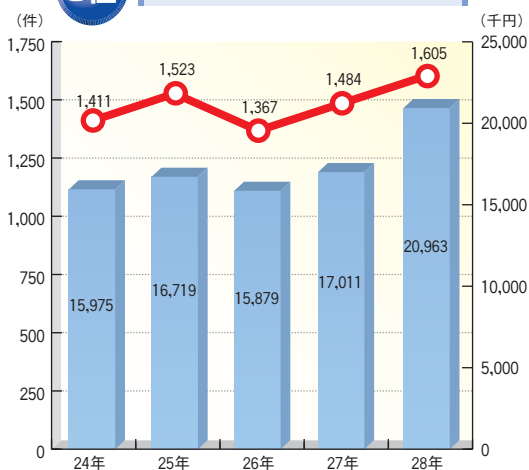
1位 高血圧性疾患



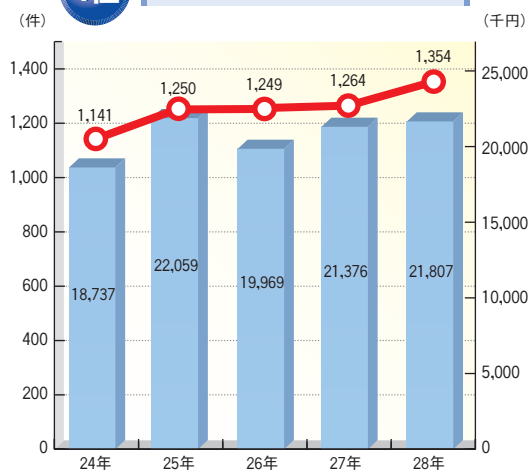
2位 歯肉炎及び歯周疾患



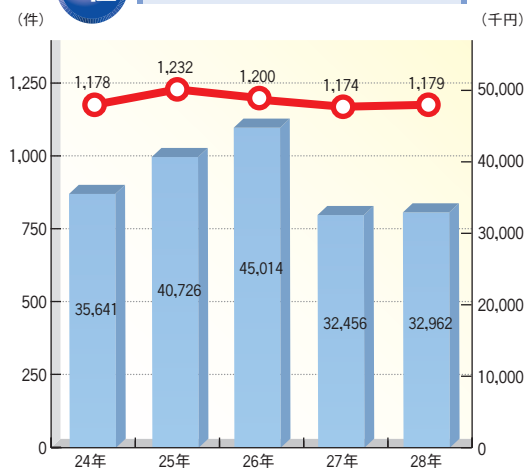
3位 屈折及び調節の障害



4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



5位 糖尿病



6位 その他の消化器系の疾患

